

事業者排出量削減報告書

(あて先) 京都府知事	
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名。記名)
京都府宇治市宇治琵琶33	宇治市役所 市長 久保田 勇

京都府地球温暖化対策条例第19条の規定により提出します。

特定事業者の主たる業種	行政
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））
計画期間	平成 18 年 4 月 ~ 平成 20 年 3 月
基本方針	平成18年度より運用する「宇治市地球温暖化対策実行計画（第2期計画）」の取り組みの徹底を図ることで、温室効果ガス排出量の削減を目指す。具体的には省エネルギーの取り組みによる電力・都市ガス使用量の削減、エコドライブ等の推進による公用車燃料使用量の削減、紙、水使用量、ごみの排出量の削減にすべての施設を挙げて取り組む。（〈18〉第2期計画における具体的な取り組みを全職員に周知し、取り組んだ。）
推進体制	環境企画課を事務局とする。各所属では所属長を中心として取り組みを推進する。（〈18〉環境企画課を事務局として、研修を行うなど取り組みを推進できた。）

年度ごとの具体的な取組及び措置	年度	設備、対象、工程等	措置内容
	18~19	小・中学校、幼稚園	学校版環境ISOの取り組みに基づき、環境ボーナス制度の試験導入を行うなどして光熱水費削減を図る。（〈18〉水道使用量2.5%減、都市ガス使用量2.4%減）
	18~19	市道街灯	100wの水銀灯は、交換時に付近の住民の方々の了承を得た上で100wの水銀灯相当のインバーター式蛍光灯（消費電力約半分）に変えていく。新設の際には設計段階でインバーター式蛍光灯を発注する。（〈18〉随時実施）
	18~	浄化センター	超微細気泡散気装置を導入し、従来の装置より送風量を抑え消費電力を減らす。（〈18〉随時導入）

温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (17)年度 (二酸化炭素換算(t))		目標年度(計画) (19)年度 (二酸化炭素換算(t))		削減率 (計画) (%)	報告年度(実績) (18)年度 (二酸化炭素換算(t))		削減率 (実績) (%)
	A 事業所等排出区分		13,483 t		13,146 t	-2.5 %		12,870 t	-4.5 %
	B 輸送車両排出区分		t		t	%		t	%
	C その他排出区分		336 t		328 t	-2.5 %		188 t	-44.0 %
	排出合計	*1	13,819 t	*2	13,474 t	-2.5 %	*4	13,058 t	-5.5 %

その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度(計画)				報告年度(実績)			
		取組量等		(二酸化炭素換算(t))		取組量等		(二酸化炭素換算(t))	
	森林の保全及び整備	(整備面積)	ha	(吸収量)	t	(整備面積)	ha	(吸収量)	t
	府内産の木材の利用	(利用量)	m³	(削減量)	t	(利用量)	m³	(削減量)	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(売電量)	kwh	(削減量)	t	(売電量)	kwh	(削減量)	t
		(熱供給量)	GJ	(削減量)	t	(熱供給量)	GJ	(削減量)	t
	グリーン電力の購入	(購入量)	kwh	(削減量)	t	(購入量)	kwh	(削減量)	t
	削減量等合計			*3	t	*5			t

差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度(実績)		目標年度(計画)		削減率(計画)	報告年度(実績)		削減率(実績)
	1	13,819 t	()-(**)	13,474 t	-2.5 %	(**)-(***)	13,058 t	-5.5 %

特記事項

- ISO14001の継続的改善
宇治市役所本庁舎では、ISO14001の認証を取得しており、環境に影響を与える事業の継続的改善を図るほか、古紙回収事業や緑化啓発事業、学校版環境ISOの推進などの環境に良い影響を与える事業を更に増やしていきたいと考えております。
- 学校版環境ISOの推進
平成17年度より学校版環境ISOを推進しており、小・中学校、幼稚園にて省エネに取り組んだ結果、平成17年度は前年度と比較して電気使用量が2.5%削減できました。温室効果ガス削減目標達成の重要なポイントとも言えますので、今後も更に推進していきたいと考えております。（〈18〉水道使用量2.5%減、都市ガス使用量2.4%減）
- エコファミリー推進事業
今年度で3年目の取り組みとなるエコファミリー推進事業は、ご応募いただいた市民の方々に夏場3ヶ月間エコ生活に取り組んでいただくものです。初年度は101世帯、2年目は175世帯、今年度は184世帯のご家族にご応募いただきました。その成果として、エコファミリーに取り組まれた世帯の二酸化炭素排出量は、日本の平均より3ヶ月間で40kgも少なくなっています。（〈18〉184世帯中106世帯をエコファミリー認定し、18年度は日本の平均に比べ94kg少ない結果となりました。）
- 市民一人一日あたりごみ排出量の削減
平成22年度までに一人一日あたりごみ排出量を平成8年度比で100gを減量するという目標をたて、古紙回収事業（17年度1万トン回収）や生ゴミ処理機等購入補助（17年度150件）などを行っています。その結果、17年度で一人一日あたり89gの減量ができました。（〈18〉一人一日あたり87gの減量が出来ました。）
- 環境啓発への取り組み
本市では、環境月間である6月に様々な啓発事業を行っています。18年度は小学6年生を対象とした「ちびっこ環境学習会」、市内の主要な駅で環境啓発物品を配る街頭啓発、地球温暖化に関するパネルや環境にやさしい商品を展示する「環境展」などを開催しました。
- 低公害車の導入
本市では、公用車296台の内低公害車を33台導入しました。その内のほとんどがゴミ収集車であり、軽油からの切り替えにより1万1千kgの二酸化炭素排出量を削減しました。

※宇治市では実行計画との整合性を図るため平成12年度現在の排出係数を使用しております。そのため、本計画書・内訳書と、宇治市発表の温室効果ガス排出量に多少の差が出ておりますが、何卒ご了承下さいますようお願いいたします。

連絡先	担当部署
	担当者氏名
	住所
	電話番号
	ファクシミリ番号